

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

平成29年 6月30日

京都府知事 殿

提出者

住 所 大阪市中央区本町四丁目1番13号

氏 名 株式会社竹中土木 大阪本店
常務執行役員本店長 岩田 充弘

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6252-4086



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	福知山相長川水門築造作業所
事業場の所在地	京都府福知山市大字私市小字立石51-4
計画期間	平成28年 4月 1日 ～ 平成29年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：17,716,000千円
③従業員数	245人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ガラスくず類→再生処理業者に委託、がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 木くず→再生処理業者に委託し、再生紙として再資源化。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	1,727.12 t	31.14 t
	(これまでに実施した取組)		
・撤去・処分予定の仮設コンクリートの食い込み率の低減。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	800 t	10 t
	(今後実施する予定の取組)		
・資材発注時に仮設材等に再利用できる物を選定する。 ・混合廃棄物の分別を強化し、排出量を抑制する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、木くず、混合廃棄物は現場内に各々の分別、保管場所を定め、随時再資源化施設へ委託しリサイクルに努めている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 可燃物、廃プラスチック、金属くずは各々廃棄物コンテナにて分別する。

別紙(第2面関係)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	廃酸		
排出量	53.55 t	5.58 t	t	t

産業廃棄物の種類				
排出量	0 t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	廃酸		
排出量	40 t	0 t	t	t

産業廃棄物の種類				
排出量	t	t	t	t

(管理体制図)

部 門	役職・氏名	内 容
本社	技術生産本部長	廃棄物、再生資源に関する業務を統括する
	技術生産本部 安全品質環境部	①基本方針の決定 ②社員・協力会社の教育、啓発 ③法令・行政の指導内容の周知 ④廃棄物処理の実態把握（資料の収集・分析・統計） ⑤再生資源及び促進に関する技術対応 ⑥再生資源及び促進の実態把握
大阪本店	工事部長	大阪本店内の廃棄物、再生資源に関する業務を統括する
	工事部 安全品質環境G 部長	①社員・協力会社の教育、指導 ②委託契約の締結 ③廃棄物処理、再生資源及び利用促進に関する書類の保存 ④廃棄物処理、再生資源及び利用促進に関する実態の把握 ⑤本社への廃棄物処理、再生資源及び利用促進状況の報告 ⑥行政との対応
作業所	作業所長	作業所内の廃棄物に関する業務を統括する
	建設廃棄物処理責任者	①「廃棄物処理計画書」「再生資源利用計画書」「再生資源利用促進計画書」の作成 ②上記書類の大阪本店への送付 ③委託処理会社の選定・監督 ④処理状況、再生資源利用及び促進状況の確認 ⑤廃棄物処理月次報告の作成、大阪本店への報告 ⑥大阪本店への廃棄物処理状況の随時報告 ⑦発注者及び行政との対応

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】なし	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】（平成29年度）なし	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】なし	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t
(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】（平成29年度）なし	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】なし	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】（平成29年度）なし	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	がれき類
		木くず
	全処理委託量	1,727.12 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,727.12 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組) コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は再資源化施設へ委託しており、混合廃棄物に関しても可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図っている。		

別紙(第4面関係)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	廃酸	0	0
全処理委託量	53.55 t	5.58 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	53.55 t	5.58 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t	t	t

産業廃棄物の種類	0			
全処理委託量	0 t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t	t	t

②計画	【目標】（平成28年度）		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	800	10
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	800 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者を選定する		
※事務処理欄			

別紙(第5面関係)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	廃酸		
全処理委託量	40 t	0 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	40 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
全処理委託量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t